



西伊豆町

議会だより

第60号

2020年
3月定例会



胸いっぱいの思い出と巣立ちの春

伊豆海認定こども園 卒園式

施政方針・大綱質疑
文教施設建設に向け
一般質問
議会の動き

2~4

6~7

13~18

19~21

3月18日、伊豆海
認定こども園で卒園
式が行われました。

議会だよりは、西伊豆町
ホームページでも御覧になれます。

あなたの声が届く町政へ

令和2年度 西伊豆町長 施政方針(抜粋)

予算編成

町政運営の基本的な考え方としては、「あなたの声が届く町政へ」という考えを引き継ぎ持って、町民の声を大切にし、何事も自分事と捉えて取り組んで参りたいと思います。

歳入、歳出について今後も、寄付をしてくださった皆様の思いに応える寄付金の活用をするとともに地域産業のテコ入れなどを行い、持続可能な地域づくりを行っていきたいと考えております。

当初としては、考えられるものすべて計上したうえで、69億円となりましたが、令和元年度『ふるさと納税』の復調と、令和2年度もしっかりと寄付が集まるような取り組みをし、西伊豆町の財源確保に努めるという意気込みを持って『ふるさと納税』は10億円の寄付金を受け入れた想定での、現実に即した予算を組んでおります。

防 災

外部団体の支援をいただいでの事業は終わりますが、引

き続き西伊豆町の現状に即した仕様になるよう、順次見直しをかけていきたいと思います。

また、令和2年度はそれを基に、実際に即した避難所運営の訓練を行うほか、備品の配備見直しなどソフト面での充実を図りたいと思います。

ハード対策では、消防団第4分団詰所の移転や、耐浪調査の結果、津波に耐えられないと判断された避難予定箇所周辺の対策も考えなければなりませんので、国・県などの支援を頂きながら避難場所の確保ができるよう取り組んでいきたいと思います。

避難誘導看板につきましては、令和2年度におきましては安良里地区で行い、その後も津波避難タワーや、高台避難施設等の整備が整ったところから順次看板を設置し、避難所の周知と災害時の避難誘導に努めていきたいと思います。

斎場建設

該当地において地質調査を行い、地区の皆様のご心配を払拭できるデーターが出るのか確認を行いたいと思います。

データー結果が分かり次第、地域の皆さんに随時説明を行っていきたいと思います。

一次産業

農業についてはオープン予定の直売所を大いに活用いただき、農業に活気が生まれることを期待しているところです。

ワサビ購入に対し補助することによって、町内での流通が増えるのではないかと考え、新たに水ワサビ購入補助事業の要綱を設置し200万円を予算に計上し開始したいと思っております。

林業については森林経営計画の作成促進として、新たに700万円強を計上し約180haの経営委託を行い林業施業が行える環境を整えていきたいと思います。

漁業については漁獲量がすくないのであれば、少しでも値段をあげて販売しなければ漁業の生き残りもままなりませんので、産地直売所を活用し販路の開拓や、魚価の安定を図っていかなければと思います。

今後は継続的に誘客に繋がるようツアーハウスの商品化をし、観光漁業として収入を上げられる取り組みにも力を入れていきたいと思います。

商 工

昨年、トイレや家屋の改修リフォーム補助制度を行ったところ、大変好評をいただきました。令和2年度も引き続き

行う事によって、町内業者さんの活気に繋がればと考えております。昨年から始めたサテライトオフィス事業の一環として起業支援などを行い、町内での起業や町外から移住しての起業など、新たな職づくりも行っていきたいと思います。

観光

昨年は、ユーチューバーやインフルエンサーを活用してのPRに力を入れて参りました。

令和2年度も引き続PR事業を行うと共に、今まで以上にTVCMやドラマなどのロケ誘客にも力を入れ交流人口の増加を図っていきたいと思っております。

令和2年度からは、『こがねすと』を一括指定管理から外し、ジオガイド協会さんに指定管理をお願いするととなります。通過型観光ではなく、ジオサイトに1つでも多くお寄りいただき、滞在時間が増えることによって、町内での経済効果が生まれればと思っております。

移住定住

新たに移住定住促進事業助成金制度を、3年間の时限補助として行いたいと思います。内容としては、家賃補助として、10000円×12か月、最長24か月の助成となります。

西伊豆町には空き家はあります、建物も築年数がかな

り経っており、定住するための建物としては補修や改修が必要になってきます。

改修工事の1/2相当か50万円のうち少ない額と、空き家の中には家財道具がそのままの住宅もあるため、家財処分として、処分費の4/5相当か10万円のうち少ない額の補助となります。

健康増進

令和2年度から、脳ドックの助成事業を開始いたします。ただ、条件といたしまして、特定健診をお受けになられた方を対象にという事にさせて頂く予定であります。

重症化してから病院にかかるよりも、早期発見早期治療による健康増進を図っていきたいと考えております。

高齢者交通支援

平成30年度途中から事業を始めたバス券につきましては、改善しなければいけない時期ではと考えております。

この件につきましては、巡

回バス、デマンド交通というご意見もありますが、費用対効果を考えて事業を行っていきたいと思います。

当初予算におきましては計上しておりませんが、方向が固まり次第補正にて対応をしていきたいと考えております。

教育

高校生の通学補助については、松崎高校は1/3から1/2に変更し、定期券を買って乗車はしないが、回数券での利用という生徒にも対応できるように、定期券補助を受けない方には年額1万円を補助し、その中で回数券の購入や自転車の購入費に充てていただければと思っています。

西伊豆町にはALTが3名おりますので、学校と良く連携し子供の英語教育がスムーズに行われるよう環境を整えると共に、静大の外国教育指導訪問とも連携し、小学校教員のスキルアップも図っていきたいと思います。



町長の施政方針

大綱質疑

総括

質問 「あなたの声が届く町政へ」を基本方針にしているが、具体的にはどのように届いているのか。

町長 報告会などは行っていませんが、町を歩いているときとか、グランドゴルフ・健康サロンに顔を出した時に、町に対する苦言、アドバイスがあれば、できるだけ対応するようにしています。

斎場建設

質問 何年度完成を予定しているのか。

町長 詳細なスケジュールは決まっていません。

これから地質調査を行い、出水期のデータを探り、それを基に地域の方に説明して、最終判断をします。

町職員の人員確保

質問 町職員の人員確保が難しい状況だ。

具体的な政策は。

町長 行政職は賀茂郡下全体で連携して大学などにリクルートに行く話もでてきてています。

そのようなことを活用して募集をかけていきたいと考えています。

ふるさと納税

質問 令和2年もしっかりと取り組むとあるが、どのように取り組むのか。

町長 ふるさと納税が寄せられる仕組みを把握すれば、ピンポイントで集まることが過去何年かの事例でわかつてきましたので、ネットをうまく活用して、昨年以上に西伊豆町を選んでもらえる取り組みをしていきます。

災害対策

質問 災害対策のソフト面を充実すると述べているが、内容は。

町長 避難所の運営は住民主体でとを考える中で、現実に即した避難所の体験訓練の実施、保管物資があらゆる災害に対して対応できるのか、医療関係の薬品の保管についての検討などです。

駿河湾フェリー

質問 駿河湾フェリーについて言及がなかったが、今年度非常に苦戦している。

今後2市3町でどのように対応していくのか。

町長 昨年度に比べ大変厳し状況であり、応分の負担を求められる可能性があります。観光資源として、また陸路が分断された場合の物資補給路となるので、多少負担が増えても守って行きたいと考えています。

ホテル避難

質問 災害時にホテルを避難所としている。

耐震化されていないホテルもあるが、避難所として想定するのはいかがなものか。

町長 地震などの大規模災害があった場合、ホテルを使わせていただく前に安全確認し、確認が出来たホテルについては、災害協定に基づいて使わせていただくので、不都合はないと考えています。



議案審議

新年度予算17.7%増(一般会計)

収入(歳入)

給 料 (町税等)	8億8408万9千円
実家からの仕送り (地方交付税)	22億 0万0千円
兄弟からの援助 (国・県補助金)	8億 814万6千円
貯金取り崩し (繰入金)	13億4112万3千円
バイト代 (その他の収入)	14億2414万2千円
借 金 (町債)	2億4250万0千円



一般会計予算を家計簿にたとえて
作表しました。

収入合計 69億円

支 出(歳出)

生 活 費 (総務費)	7億4892万2千円
年金・保険料等 (民生費)	10億4367万1千円
薬代・ごみ処理代 (衛生費)	5億7097万7千円
農業代・養魚飼育代 (農林水産業費)	2億8694万5千円
商品購入・旅行代等 (商工費)	8億8151万0千円
家屋修理代 (土木費・災害復旧費)	5億 319万1千円
消火器購入 (消防費)	4億4200万8千円
学費仕送り (教育費)	6億8274万8千円
ローン返済 (公債費)	6億 372万9千円
区・町内会費 (議会費)	6118万8千円
雑 費 (諸支出金)	10億7011万1千円
へそくり (予備費)	500万0千円

支出合計 69億円

(特別会計)

会 計 名	歳入歳出総額	前 年 度 対 比	増減(%)
国民健康保険特別会計	12億4500万0千円	△ 1100万0千円	△ 0.9
後期高齢者医療特別会計	3億 150万0千円	660万0千円	2.2
介護保険事業特別会計	14億9800万0千円	△ 3600万0千円	△ 2.4
水道事業会計	3億2533万7千円	△ 8210万1千円	△ 20.2
温泉事業会計	1億2403万4千円	△ 7460万0千円	△ 5.7

※水道事業会計及び温泉事業会計は、収益的収入と資本的支出の合計額です。

文教施設建設に

開催期間	3月3日から3月13日まで
審議した案件	町長提出議案 22件 同意 12件 発議 1件
可決した主な議案	令和2年度一般会計予算 ほか5つの特別会計予算 一般会計補正予算（第9号）・国民健康保険特別会計補正予算（第3号）・ 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）・介護保険事業特別会計補正予算 (第4号)・西伊豆町教育委員会教育長の任命についての同意など

こんなことが、
決まりました。

一般会計
(賛成8：反対1)

問 街灯関係電気料地区負担金114万5千円は、各区の区費等で賄われているが、ふるさと応援寄附金を活用して、負担金無しにはできないか。

答 議会の同意が得られて債券運用額を増やせれば、その運用収益で対応することは可能と考えます。

負担金がなくなることで新設要望が増えることを懸念しています。

問 文教施設整備に係る国・県の補助金は無いのか。

答 令和2年度はありませんが、事業全体で8億円程度を見込んでいます。

問 若年がん患者等支援事業補助金の内容は。

答 がん患者を対象に、補装具や医療用ウィッグなどの購入費に補助します。

問 空き家入居者支援事業の内容は。

答 移住定住促進事業として、住宅改修工事費用の2分の1もしくは50万円のどちらか少ない額と、空き家の家財処分として処分費の5分の4もしくは10万円のどちらか少ない額の補助となります。

問 社会福祉協議会が使用中の健康センターは、台風時等の避難施設として使用されているが、雨戸もなく雨漏り箇所もあるが改修はないか。

答 早急に対処します。

問 町有林間伐業務で作業道を整備するが、間伐材は搬出するのか。

答 搬出を行い売却できるものは売却したいです。

問 堂ヶ島天窓洞詳細点検業務委託の内容は。

答 堂ヶ島火祭りの花火打ち上げの振動により、壁面の剥離などが懸念されるので、調査するものです。

向け

国民健康保険特別会計 (賛成 8 : 反対 1)

問 国保加入者は2月1日現在 2338人で、前年同期と比較 すると145人減とのことだ が、減少傾向は何年も続い ているのか。

答 毎年100人から150人位 減っている傾向が続いてい ます。

問 保健指導事業等業務委託 の内容は。

答 特定健診の未受診者に對 して、受診勧奨などを進め る事業を委託し、受診率の 向上に努めるものです。

問 新規事業の脳ドック受診 助成費の内容は。

答 特定健診及び若年者健診 受信者を対象に15000円を助 成するもので、20歳以上の 方で人間ドックか脳ドック のどちらかになります。

反対 保険税改正で、税が上 がる人と上がらない人が出 るので、町民に不公平感を 与える上げ方には調整の余 地があると考え反対。

賛成 保険税は、県下統一に 向けて改正していくことで

文教施設（施設一体型小中一貫校・統合認定こども園） 等整備事業費に1億7282万5千円を計上。
建設地の調査・施設設計委託
西伊豆中学校既存施設解体設計業務委託
仮設道路工事などです。

あり、資産割を廃止した予 算案に賛成。

介護保険事業特別会計 (全員賛成)

問 地域おこし協力隊員が行っ ている訪問リハビリのサー ビス利用者数は。

答 9名です。

問 今後、対象者は増えるか。

答 メインは予防教室ですの で、介護予防教室・運動教 室などの実施により増減は 分かりません。

問 高齢者の機能が落ちリハ ビリなどで機能回復した場 合、その後の対策は。

答 介護教室・予防教室など に参加していただき、現状 維持から生活の向上に繋が ればと考えています。
地域の方がボランティア で予防教室などを開催でき るようにリーダー養成講座 を開催し、受け皿を多くす る取り組みを行っています。

水道事業会計 (全員賛成)

問 水道工事指定業者数は。 答 町外の業者を含め41業者 で、メーター器の交換など を取り扱いしているのは13 業者です。

問 一色地区の石綿管布設替 工事予定は。

答 県道もしくは町有地への 布設替えを検討し、令和3 年度に着工の予定です。

温泉事業会計 (全員賛成)

問 飲泉所を見直して、足湯 を設置しては。

答 飲泉所は、役場の前に設 置してあり、利用者が少な いのは認識していますが、 現在はシンボル的な存在と なっています。

今後、廃止を含めて検討 したいです。

足湯の設置については、 供給する側ですので、温泉 事業会計では考えていま せん。

後期高齢者医療特別会計 (全員賛成)

安良里地区津波避難タワー・防火水槽建設へ

図書館の開館が、午前9時から

新町建設計画の変更 (全員賛成)

法律の改正により合併特例債の発行期限を令和6年度末までの5年間延長する事が可能となったため、合併したときに制定した新町建設計画を変更するものです。

問 特に変更したものは。

答 計画期間の延長と統計データや財政計画の修正をしました。

また、事業内容の変更として文教施設等整備事業、新斎場整備事業を追加しました。

町有財産（土地）の返還について (全員賛成)

大田子南山地区の急傾斜地工事が完了し、大田子区から町に返還されるものです。

西伊豆町図書館設置条例の一部改正 (全員賛成)

来年度から、会計年度任用職員2名で行い、開館時間を午前8時30分から9時に変更するものです。

賀茂地区障害者地域生活支援拠点事業運営協議会について (全員賛成)

賀茂地域（下田、東伊豆、河津、南伊豆、松崎、西伊豆）で障害者の生活支援拠点を設けるものです。

問 負担金の割合は。

答 およそ下田市が98万円、東伊豆町70万円、河津町45万円、南伊豆町55万円、松崎町52万円、西伊豆町が58万円です。

初年度は、松崎町が事務局を担当します。

西伊豆町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の改正 (全員賛成)

国の保育料無償に伴い改正するものです。

国民健康保険特別会計補正予算（第3号） (全員賛成)

事業の精算により、歳入歳出を20万円減額し、総額を12億7000万円にするものです。

安良里地区津波避難タワー及び防火水槽建設工事請負契約の締結について (賛成8：反対1)

旧安良里診療所跡地に建設します。

契約金額：1億5180万円

施工業者：長田・丸宇特定建設工事共同企業体

着工：令和2年3月14日

完成：令和2年10月30日

工事概要

構造：PCaPC（プレキャスト・プレストレスコンクリート）造 1基

避難床高さ：7m

避難床面積：135m²

（約270名避難可能）

防火水槽：RC造39トス1基

問 避難床高の決め方は。

答 津波浸水深で決まります。

問 近隣への説明は、どこが行うのか。

答 町が行います。

反対 今回の入札は事前の知らせがなく、事業者にとつて不公平感や、競争原理に反するので反対。

賛成 町民待望の施設であり、安心・安全を与えるためにも早急な建設を望み賛成。

観光協会へ3500万円の緊急補助

一般会計補正予算 (第9号)

(全員賛成)

事業精算見込による予算額の整理で、歳入歳出予算総額にそれぞれ3億7181万2千円を増額し、総額80億円とするものです。

問 観光協会への補助金の3500万円は。

答 コロナウイルスの影響で、宿泊予約キャンセルが多数あることなどを考慮し、緊急に協会員を支援するものです。

問 診療所整備基金の減額の理由は。

答 田子診療所に、心電図の検査装置。安良里診療所は、内視鏡の洗浄装置を購入しました。これに対し県から2分の1の補助がありました。

国民健康保険税条例の一部改正

(賛成8:反対1)

保険税率の資産割をなくして3方式にするものです。

反対 基金の活用を図り、きめ細かく試算し、国保税の引き上げにならないように

すべきで反対。

賛成 国保運営協議会に諮問し、「妥当」との答申をいたしておりますので賛成。

農業委員会の委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合

(全員賛成)

後期高齢者医療特別会計 補正予算(第1号) (全員賛成)

諸収入として前年度事業の確定を受け、広域連合から超過納付分の過年度還付金を受け、歳入歳出予算総額にそれぞれ1468万円を追加し総額3億958万円とするものです。

西伊豆町水道事業給水条例改正の一部会改正 (全員賛成)

事業更新手数料を1件につき、2000円にするものです。

問 更新対象業者への周知は。

答 期限が近くなりましたら、更新案内を通知します。

西伊豆町職員の服務の宣誓に関する条例の改正 (全員賛成)

会計年度任用職員の宣誓について決めるものです。

農業委員会委員の同意
(全員賛成)

土屋亘、土屋浩二、磯清彦、佐野登、藤井恵、上松茂樹、須田美光、松田貴宏、土屋秀作、服部信一さんの10名です。

教育長の同意

(全員賛成)

清野教育長の任期満了に伴い、新たに鈴木秀輝さんに同意しました。

任期は、令和2年4月28日～令和5年4月27日です。



鈴木秀輝さん

第1回臨時会

令和2年1月28日

西伊豆町農林水産物直売所新築工事変更請負契約の締結

(賛成8:反対1)

令和元年7月16日臨時会で議決された請負契約に、15万4千円を増額し、1億4865万4千円とするものです。

主に、外構工事・玄関扉の自動化・浄化槽規格の変更(45人槽から42人槽)などです。

問 変更額は請負額の1.0%に満たない金額だが、民間的発想で考えれば、話し合いで増額なしに出来ないのか。

答 増額契約も減額契約もあり議案として上程するのは当然で、国からも通達されています。

問 売り場の配置計画の決め方は。

答 企業組合・町・設計業者などで協議しました。

問 玄関扉の自動化の必要性は。

答 お客様の利便性を考慮しました。

問 屋外に防水型コンセントを設置する理由は。

答 給湯機の屋外機の電源として設置しました。

仁科浜地区津波避難タワー建設工事変更請負契約の締結 (全員賛成)

令和元年10月8日臨時会で議決された請負契約に、910万8千円を増額し、1億4550万8千円とするものです。

主に、仮設矢板工・花壇撤去復旧工・仮設足場工などです。

問 仮設矢板工の施行で隣家への影響は。

答 振動などにより影響が生じた場合は、補償することで了解を得ています。

問 ソーラー外灯基礎工の変更は。

答 施工業者から構造物に影響があると指摘を受けました。

問 施工業者からの指摘なら、明らかに設計ミスだが、設計業者の見解は。

答 設計が適正でなかったとっています。

問 それを受け、設計業者の評価は。

答 来年度の設計等に関しては、考慮されるものと思います。

問 法面の高さが2.5m程になるが、転落防止柵が必要だ。

答 花壇部分と津波避難タワーのところに、特に安全柵などは考えていません。

専決処分の承認 一般会計補正予算 (第8号) (全員賛成)

主に、ふるさと応援寄附金予定額9億円に2億円を追加し、11億円とするものです。

ふるさと納税特產品費などに1億1316万7千円を計上しました。

静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約 (全員賛成)

事務組合に加盟する組合の解散に伴い、組合規約の一部を変更するものです。



安心・安全な町 津波避難タワー整備

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤 豊	山本智之	芹澤 孝	高橋 敬治	加藤 勇	山田厚司	西島繁樹	堤 和夫	山本 榮	増山 勇	議決結果	
第1回臨時会	専決処分の承認（令和元年度 一般会計補正予算（第8号） [3億1316万7000円を増額するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	令和元年度 農林水産物直売所新築工事 変更請負契約の締結 [15万4000円を増額するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	
	令和元年度 仁科浜地区津波避難タワー建設工事 変更請負契約の締結 [910万8000円を増額するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約 [所属組合の解散による変更]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
3月定期会	新町建設計画の変更について [新町建設計画の変更]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	町有財産（土地）の返還について [大田子区より町へ土地の返還]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	賀茂地区障害者地域生活支援拠点事業 運営協議会規約の制定 [規約制定]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	印鑑条例の一部を改正 [成年被後見人関係法律整備に伴い改正するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	町職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正 [会計年度任用職員の服務の宣誓を追加するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	国民健康保険税条例の一部を改正 [課税方式の変更に伴い改正するもの]	○	-	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	水道事業給水条例の一部を改正 [水道法の改正に伴い改正するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	町立図書館設置条例の一部を改正 [開館時間を変更するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正 [設備・運営の基準改正に伴い改正するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正 [運営に関する基準改正に伴い改正するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案の議決結果	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正 [基準改正の省令公布に伴い改正するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	令和元年度 一般会計補正予算（第9号） [3億7181万2000円を増額するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	令和元年度 国民健康保険特別会計補正予算（第3号） [20万円を減額するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決

議案の議決結果(つづき)

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤 豊	山本智之	芹澤 孝	高橋 敬治	加藤 勇	山田厚司	西島繁樹	堤 和夫	山本 榮	増山 勇	議決結果
3月定期会	令和元年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) [1468万円を増額するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	令和元年度 介護保険事業特別会計補正予算(第4号) [2700万円を減額するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	令和2年度 一般会計予算 [当初予算]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
	令和2年度 国民健康保険特別会計予算 [当初予算]	○	-	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度 介護保険事業特別会計予算 [当初予算]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度 水道事業会計予算 [当初予算]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度 温泉事業会計予算 [当初予算]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	教育委員会教育長の任命 [任期満了に伴う新たな教育長の任命]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	令和元年度 安良里地区津波避難タワー及び 防火水槽建設工事請負契約の締結 [契約金額1億5180万円]	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	農業委員会の委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合 [委員の認定農業者等の割合を変更するもの]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	農業委員会委員の任命(10名) [委員1名ずつの議案を審議]	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	新たな過疎対策法の制定を求める意見書	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長(山本智之)は採決に加わりません。

国に意見書を提出

新たな過疎対策法の制定を求める意見書(全員賛成)※抜粋

過疎地域は、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、国土の保全、水源のかん養、食料供給、地球温暖化の防止など多面的かつ公益的機能を果たす国民共有の財産として、長らく過疎地域の住民によって支えられてきた。

しかし、現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなる。今後も過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化していく必要がある。

よって国においては、過疎地域の振興を図るために、新たな過疎対策法を制定するとともに、現行法の過疎地域が引き続き新法による支援を受けられるよう強く要望する。

ごみ処理広域化への参加は

(町長) 12月に参加の有無決定



高橋 敬治 議員

質問 新聞報道で「1市3町によるごみ処理広域化参加への賛否決定が12月にずれ込む」とあったが、現状は。

町長 令和元年8月から西伊豆町も加わった担当者レベルの協議会が、燃焼方式と燃焼しないトンネルコンポスト方式での検討結果を4市町首長会へ提案します。

各市町は12月に広域参加の有無を決定し、参加市町による正式な協議会が発足することになっています。

質問 「トンネルコンポスト方式」を理解されているか。

町長 すでに香川県三豊市の視察を行った市町もあり、西伊豆町も令和2年度予算に視察費用を計上しました。

質問 「西伊豆町一般廃棄物処分場」の終了予定年度は。

町長 令和2年度に残余容量算定のための測量を予算計上し、その結果によります。

質問 覆土は用途に応じたものを使用すべきでは。

町長 最終目標を決め、今後の検討課題にします。

**鷹ノ巣残土処理場は
詳細測量設計をする**

質問 一向に状況変化無いが。
町長 契約に含まれていない作業費用を管理会社に算出してもらったが、検証のための詳細測量設計費を6月に予算計上する予定です。

質問 伐根の必要性は県農林事務所の意見も伺うべきだ。

町長 県にも相談します。

質問 新たな候補地を探しているが、概略設計図作成などの支援をしてもらえるか。

町長 支援いたします。

**支所・出張所の統合は
現状では人員配置必要**

質問 職員確保が難しいとの理由で窓口業務を縮小するが、今後採用ができれば元に戻すのか。

町長 区長会・自治会の意見も聞き、閉鎖ではなく縮小としましたが、業務も増えており戻すのは難しいです。

質問 支所・出張所の統合は。

町長 住民の利便性や防災面からも、各所に人員配置しておくことが現状では必要だと判断しております。



トンネルコンポスト方式で生成する固形燃料

一般質問



堤 豊 議員

賀茂地域の魅力向上は (町長) 地域の魅力を認識させる

質問 賀茂地域広域連携会議が「みんなの未来づくりアンケート」についての調査で、小、中、高校生の児童・生徒を対象に6項目のアンケートを実施した。

「今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか」との質問に対し、「はい」の回答率が32%と前回調査2016年に比べ7%下落した。

この数字をどう受け止め賀茂地域魅力向上をどう図つて行くのか。

町長 魅力がないことに直結することになります。大人が子どもに魅力があることを認識させるべきです。

西伊豆町には、富士山、夕陽の絶景、堂ヶ島のトンボロと人気があるものが多く、地域の魅力を認識させることが大切と考えます。

**産直の海産物確保は
努力していく**

質問 農林水産物直売所の海

産物確保は、厳しい状況が予想されている。熱海でも遊漁船のお客から魚を買い上げるシステムがあるがうまく行っていない。

海産物確保はできるか。

町長 宇久須から松崎までの遊漁船組合で7隻が加盟予定で、令和2年3月2日に会議が開催されました。

海産物確保をすべく、努力をしていきます。

地域の魅力を「外」に向けて

その通りです

質問 観光業者は地域の魅力を「外」に向けて紹介する使命を背負っている。観光を盛り上げなければならない。

西伊豆の土地の自然と文化、景観が魅力と思うが。

町長 その通りです。

質問 観光施設の老朽化について、耐震補強などの助成・支援ができるないか。

町長 耐震診断を実施するとはありました、工事費の高騰で施工できなかったです。事業者がしっかりした数字を示し、議会の了解があれば支援します。



遊漁船組合で7隻が加盟予定

コロナウイルスの影響対策は

(町長) 緊急に観光協会へ3500万円補助



増山 勇 議員

質問 コロナウイルスの影響で、宿泊キャンセルが多いと報道されている。

町の対策は。

町長 2月6日に観光協会から、マスク供給の要請があり町の備品の半数を提供しました。

宿泊キャンセルが続いているとのことなので、緊急に観光協会へ3500万円を補助金として支出します。

来年度新規事業は 施政方針の中に

質問 来年度の新規事業は。

町長 施政方針の中にあります。主なものは高齢者交通支援策としてのタクシー料金助成や、移住定住促進事業を3年間の时限補助で推進を図ります。また、脳ドック助成も始めます。

質問 町政懇談会は、なぜ開かないのか。

町長 これまで、参加者が区長さんや、町内会長が主でした。

私は、普段から、町民の方々と意見を広く交わしています。特段に町政懇談会の必要はないと考えます。

公共交通の対策を

タクシー料金助成

質問 以前から、提案している公共交通について、役場全体と町民で協議会を立ち上げ、本格的検討を。

町長 公共交通について独自の対策も考えましたが、難しい問題があり実現していません。今年度、タクシー料金助成を検討しています。

国保税の均等割減免を 考えていません

質問 国保税の均等割りの子どもたちへの減免措置をしないか。

町長 運営は県になっており、町独自では考えていません。

大沢里地区太陽光発電は 本申請はまだです

質問 大沢里地区の太陽光発電計画の進捗状況は。

町長 まだ、町には本申請されていません。



観光対策を

一般質問



ダチョウ飼育場の規模拡大は (町長) 現時点ではありません

山田 厚司 議員

質問 ダチョウ飼育場において規模拡大の予定は。

町長 宇久須財産区への相談が必要ですが、現時点では何も具体的にありません。

質問 臭い対策は。

町長 糞と汚物は側溝を伝わって最下部のタンクに貯まるようにし、タンク上部には厚さ1cmの鉄板蓋をのせてあります。タンクの汲み取りは、3月から定期的に業者委託する予定です。

また地元区からの提言で屋根を設置しています。

質問 対策への町の評価は。

町長 地元の意見やダチョウ関係学会の学者の助言などを参考に、積極的に取り組んでいると評価します。

**運転ボランティアは
令和3年から町内全域で**

質問 「ささえ愛西伊豆」として生活支援事業がスタートするが、どう推進するか。

町長 社会福祉協議会に委託しており、連携し新体制が

出来るよう取り組みたいと思います。

質問 運転ボランティアなどの活動開始時期と範囲をどのように考えるのか。

健康福祉課長 今年5月頃に運転ボランティアの募集をし、講習を重ねたうえで組織づくりをして、令和3年1月以降に活動開始を予定しています。

活動範囲は町内全域です。

質問 何が買い物困難になっているか原因を見極め、支援を考えるべきでは。

町長 ニーズの違いでどの様な支援が出来るか「ささえ

愛西伊豆」で検討する予定で、また今後タクシー料金の支援も計画中で、そこで対応できると考えます。

質問 ゴミ出しボランティア・支援についての検討は。

町長 「ささえ愛西伊豆」の中の地区ごとの助け合い座談会で、ニーズがあるかも含めて話し合っていただきたいたいと思います。

質問 徘徊高齢者の見守りは。

町長 早期に発見保護する各市町と警察の連携組織「静岡県認知症高齢者の見守りSOS連携事業」に4月に参画し、対応します。



乳児用液体ミルクの備えは

(町長) 120本、用意しました



西島繁樹 議員

質問 災害時の備えとして、乳児用液体ミルクへの関心が高まっているが、町での備えは。

町長 2月に120本を町で用意しました。半年毎に半数を入れ替えます。

電線の予防伐採は可能なところから

質問 暴風雨により電線などを切断させる恐れのある樹木を、未然に除去する予防伐採を町でも停電の防止対策として取り組むべきだ。

町長 所有者不明の土地が多く、官有地が少ないので大変ですが、可能なところから実施したいです。

避難所運営に女性委員を 災ボラの女性に協力を

質問 災害時の避難所運営に女性の意見反映が重要と思われる。女性は、もちろん、子供や高齢者にまで配慮し

た、きめ細かい備えをする上で、男女共同参画の考え方方が欠かせない。

町の女性委員の割合は。

町長 いませんので災害ボランティア協会の女性スタッフに、協力していただいています。

「交通弱者」の移動手段はバス券の利用を

質問 県内各地(全国的にも)で車を持たない高齢者「交通弱者」の移動手段確保に向けた取り組みが行われているが、町の取り組みは。

町長 平成30年度から70才以上の高齢者に利用者負担500円で1300円分のバス券を販売しています。

「移動式スーパー」の今後は

改善策は必要

質問 食料品などを積んだ車が町内を巡回する「移動式スーパー」の現状と今後の課題は。

町長 事業者の高齢化や、商品の品ぞろえの問題があり、商工会を通して改善策を考えてもらいたいです。



これで安心（液体ミルク）

一般質問



市町村運営有償運送の実施は (町長) 社会福祉協議会の計画を活用します

芹澤 孝 議員

質問 要介護者・要支援者・事業対象者に対する買い物支援サービスが有るが使いかってが悪く、その他の高齢な買い物困難者に対しては支援サービスがない。

利用者が限定されず持続可能な事業とするためには、有償ボランティア・シルバーによる、市町村運営有償運送（※1）か公共交通空白地有償運送を行ってはどうか。

町長 社会福祉協議会の計画（※2）を活用していくこととタクシーの調整を考えています。

※1 対象者は住民などであり利用者負担がある。運営協議会に諮って国に登録し、実施する方式です。

※2 対象者は高齢者などで福祉車両を使用する。利用者負担が有る。運転者は有償ボランティア。登録しないので違法行為だが条件をクリアーすれば実施できる。

高齢者のゴミ出し委託は 考えて行きたい

質問 体が不自由な高齢者のため、ゴミ収集日を決め対象宅からクリーンセンターまで運ぶのをシルバーなどの団体に委託してはどうか。

健康福祉課長 地域の主体性と、ご近所の関わり合いを大事にして行かないと、町が目指している、ご近所介護予防、地域包括ケアが崩れてしまうので、十分検討した上で考えて行きたいと思います。

同窓会への補助は 今回は見送ります

質問 姉妹町の富士見町では、町民の交流、生き甲斐、引きこもり防止、社会参加を目的として、町民福祉の観点から、損得を抜きに同窓会に補助をしているが見習うべきではないか。

まちづくり課長 高齢の方が集まるのは、他の事業で行っていると思いますので、同窓会の補助については、今回は見送りたいと思います。



社協福祉車両の早期な有効活用が望まれる

議会の動き

第1常任委員会報告

1月21日に教育委員会の所管事務調査を実施しました。

令和6年度に開校予定の「施設一体型小中一貫校」と「統合認定こども園」の開園予定について、教育委員会で決定している内容を調査しました。

令和3年の新統合中学校

令和3年4月から賀茂中学校と西伊豆中学校が統合し「西伊豆町立西伊豆中学校」として賀茂中学校校舎を利用し開校します。

『校訓・学校教育目標』

校訓⇒志

学校目標⇒「志高く、未来に向かって学び続ける生徒」

『校章・校歌・校旗』

令和6年開校予定の小中一貫校の具体的姿が明確でなく、小中一貫校でも使用できるものにしたいので、3年間は制定しません。

『通学バス』

登校時、現行の運行バスに加えて、大沢里～バイパス経由神田行、松崎～バイパス経由神田行の合計3台の対応を交渉中。

下校時は部活動を含めた様々な下校時間を勘案し、自主運行バスや新設ダイヤの関係などを協議調整中。

令和6年の小中一貫校

学校は、敷地の問題、防災的な問題、児童生徒の在籍数の問題など多面的に検討し「施設一体型小中一貫校」に決まりました。

『学年割を4・3・2年生に』

主な理由として、

◎中学入学における不安や生活リズムの変化から不調をきたす、中1ギャップを防げる。

◎リーダー性を育てる機会が、4年生、7年生、9年生と3回にわたって得られる。

◎小学生は、中学生に対して強いあこがれを持つことができる。

◎中学生は、普段から小学生に見られることによって責任感が育ち、日々小学生と関わることによって思いやりの心や年下の子に対して優しい態度が養われやすい。

『制服』

令和3年の新統合中学校1年生より、小中一貫校に採用される新制服を採用します。

令和6年の小中一貫校では、小学生は私服とします。

『施設整備』

小中一貫校の敷地は現中学校の敷地高と変わりませんが、仁科小学校グラウンド敷地は1m～2m程度高くなる予定です。

建物は、学校機能5階+防災機能1階の6階建てを予定しています。

令和6年の統合認定こども園

『施設整備』

園舎は、西伊豆中学校グラウンド東側に盛土高3mの敷地を造成し、その上に建設します。

園舎バスや保護者の送迎車が園舎まで横付けできるよう、外周を道路で囲う予定をしています。

令和6年の開校・開園に向けて様々な問題を解決しなければなりません。

関係者の一層の努力が期待されます。

第1常任委員長 加藤 勇

第2常任委員会報告

令和2年2月3日に産業建設課、企業課、2月19日に防災課の所管事務調査を実施しました。

産業建設課

産地直売所

産地直売所は、令和2年2月28日までに完成予定で、木造平屋建て292.35平方メートルの床面積です。

指定管理者の指定は、西伊豆産地直売企業組合に決まりました。

現在の構成メンバーは9名で、代表理事、副理事、理事、監事と役に就いた方が4名、その他組合員が5名で開業・運営を準備しています。

橋梁長寿命化修繕計画

国の「国土強靭化計画」に基づき、橋の長寿命化を図るための対策です。

◎令和元年度は、15m未満の橋11橋分の対策計画を作成しました。

◎令和2年度は、15m以上の橋3橋（大久須橋、白川橋、築地橋）の対策工事を行います。

◎町内には、橋梁点検が必要な橋梁が60橋あり、5年毎に調査する必要があります。



計画に沿った長寿命化対策工事を(大久須橋)

町有林整備事業

森林譲与税を活用し、町有林の間伐を行う事業です。

◎令和元年度は、一色地区町有林森林整備事業（7.85ha 81林班）・宇久須地区町有林森林整備事業（0.78ha 45林班）を実施しました。

◎令和2年度は、宇久須地区町有林森林整備事業（10ha 39林班）を計画しています。

◎令和3年度に計画している一色地区的町有林は、81林班の西側の境の部分が急坂になっており、木材の搬出が困難な部分があるので、捨て間伐を予定しています。

町道、河川改修事業

令和2年度は、柴松ヶ坂線工事、田子安良里線法面改修工事、念佛川護岸改修工事、不動尊川浚渫工事、太田川浚渫工事などを予定しています。

日々の生活、環境整備に直結する重要な施設ですので、1日も早い整備が待たれます。



早急な対応を期待

企業課

令和2年度以降の改良計画

水道事業

◎令和2年度は

- 先川浄水場・野畠中継ポンプ場更新用ポンプ等設置工事

- 田子低区・中央配水池耐震診断業務委託

- 岩谷戸配水池廃止に伴う管網計算業務委託

◎令和3年度以降は、引き続き配水池耐震診断及び管網計算を基にした配管設計や、新規事業として一色地区の石綿管布設替工事を予定しています。

水道事業の有収率の推移と改善策について、今後の対応の説明を受けました。

温泉事業

◎令和2年度は

- 堂ヶ島温泉副配インバーター工事

- 温泉事業経営戦略策定業務委託

◎令和3年度以降は、令和2年度に策定した経営戦略を基に、施設の耐震化・温泉管布設替工事を予定しています。

宇久須温泉配湯管布設替工事後の状況について、順調であるとの説明を受けました。

水道、温泉事業とも料金改定を検討する時期に来ていると思います。



堂ヶ島温泉副配湯所の現状

防災課

地震・津波対策アクションプログラムの進捗状況

①家庭内の地震対策

家具の固定金具等の購入に要する補助があり、補助実績は、平成29年から令和元年までで、0件であり、事業を促進する必要があります。

②救護所の資機材整備

救護所の設置を予定している宇久須、安良里、田子、仁科に確保済です。

仁科地区は津波浸水区域外に公共施設がないため、今後の課題となっています。

③非常食の備蓄

住民用は原則個人又は各自主防災会でお願いしております、現在、町は3万食を備蓄しています。

④孤立地域対策の促進

孤立予想集落に置けるヘリコプター離発着地の確保率は50%です。

宮ヶ原、大城、一色地区は確保済みだが、野畠、祢宜の畠、白川地区については、ホイストによる物資支援策をおこなう計画になっています。

災害（地震・津波）は、いつ来るかわからない。できることから準備し、自分の命は自分で守る心がけが必要ではないかと思います。

第2常任委員長 堤 豊



備えあれば憂いなし(非常食の備蓄)

ま り 自 慢 の 一 品

西伊豆町の誇る自慢品をご紹介していきます。今回は「天草」です。

天草（てんぐさ）

初夏、仁科乗浜や漁協付近には所狭しと天草が並べられます。あたり一面に海藻の匂いがぷーんと立ちこめ、夏の訪れを知らせてくれます。西伊豆町内の天草（てんぐさ）採りは大正時代から始まったとされ、最盛期には天草だけで一年の暮らしがまかなえたそうです。数十年前までは学校に「天草休み」があり、家族総出の作業でした。品質の良さは天下一品で入札会では伊豆の天草が相場を決めるほどです。採れ高こそ、ここ数年は愛媛県に抜かれましたが、その品質は変わることなく有名老舗和菓子店ではずっと仁科の天草指名買いです。最近では天然由来のカンテンで保湿効果抜群！化粧品にも使われています。採取法には海女が潜って採る（岡草）方法、沖でマンガという熊手の様な器具を使って採る方法等があります。



今は60人ほどの海女さんが操業していますが、解禁日ともなると自分だけの草刈場に直行、ウケ（うき）とスカリ（ビク）が海面に浮かぶ様子は仁科の風物詩です。岡草には男草と女草があり、女草の方が柔らかくていい糊（のり）が出るため、値も良くなります。本来なら真水をかけて天日にさらすのですが、良質の草が沢山採れるので水などかけてはいられません、そのまま干して俵にして出荷します。

「ちょっと塩気の西伊豆自慢品、カンテンでお肌ふるんぶるん。」

町内探訪⑯

田子まちづくり 協議会 会長



樋 直光さん
(田子在住)



田子まちづくり協議会の会長樋直光さんに活動についてお話を伺いました。

質問 主な活動内容は。

樋さん 田子弁カルタ、ハロウィン、消してたまるか田子、夕陽の展望所でのイベント開催などです。

質問 苦心していることは。

樋さん 女性の活力を引き出し、まちづくりに活かすこと

と、活躍する場をつくることです。

そのことで、本人も協議会も輝きを増します。

質問 現在の悩みごとは。

樋さん 男性の力が少なく、まだまだ力が足りないと思っています。

質問 今後の活動予定は。

樋さん 今の活動を広げ、子どもたちに夢を与えたい。

自分たちが子どものころ、田子には楽しい祭りがあったことを伝えたい。そして活動が長続きする秘訣は自分たちも楽しむことだと思っています。

[取材 増山勇・山田厚司]

令和2年4月15日 発行

編集 西伊豆町議会 広報編集委員会

発行 静岡県西伊豆町議会

住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、お気軽にお聞かせください。TEL: 52-1962